

行政中心複合都市と世宗特別自治市の展望

～2013 年度第 3 回韓国駐在地方公務員等連絡協議会兼クリアソウルセミナー～

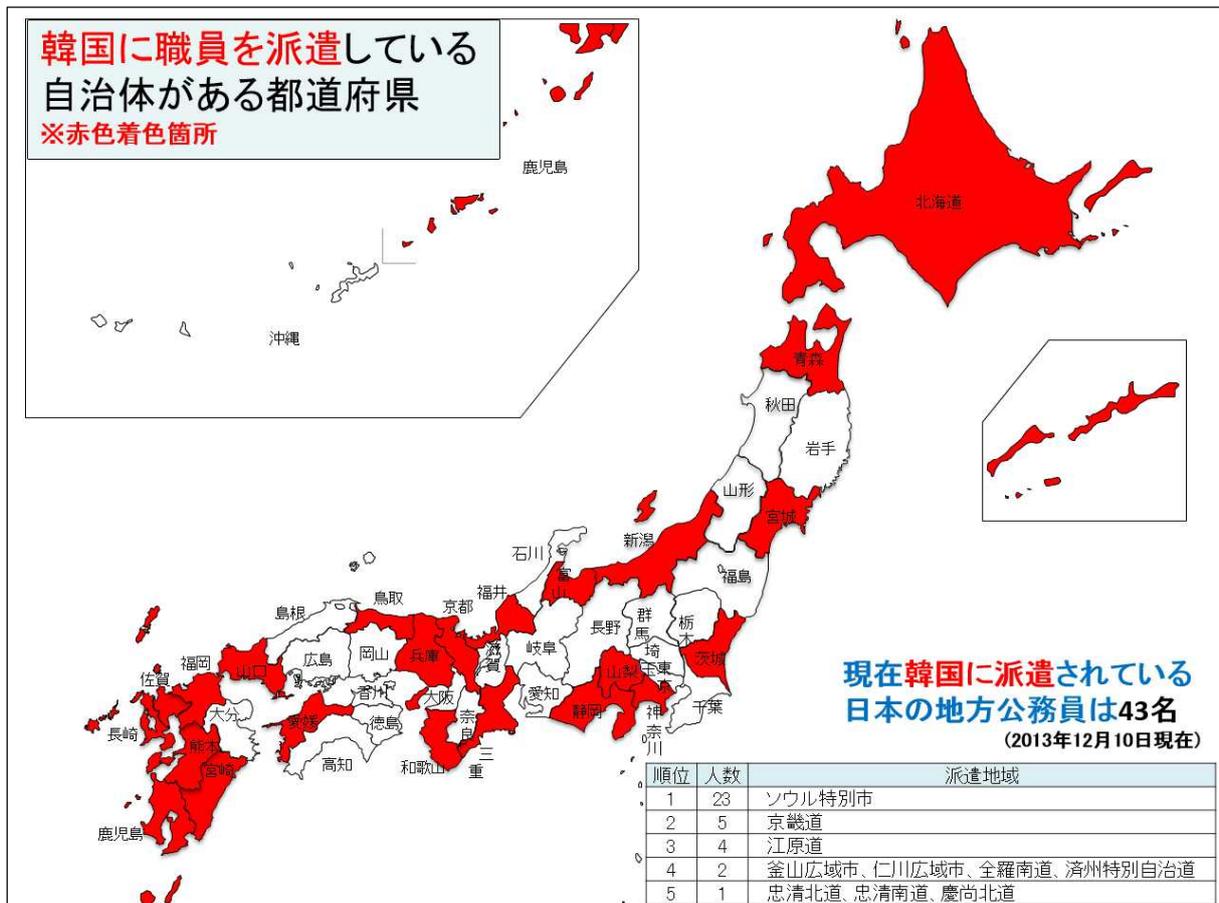
ソウル事務所

■今回のクリアソウルセミナーは？

クリアソウル事務所では、韓国に駐在されている日本の地方公務員や関係の皆様を対象として、日本と韓国との国際交流及び観光・経済・文化交流等の推進、駐在活動の円滑化等を目的に、「韓国駐在地方公務員等連絡協議会¹兼クリアソウルセミナー（以下『クリアソウルセミナーまたはセミナー』という。）」を実施しています。

2013 年度第 3 回目のクリアソウルセミナーは、2013 年 10 月 28 日（月）～29 日（火）の日程で、「行政中心複合都市と世宗特別自治市の展望」をテーマに韓国全羅北道完州郡所在の韓国地方行政研修院と世宗特別自治市（行政中心複合都市を含む）にて開催し、座学と現地視察を組み合わせ構成しました。

本レポートでは、協議会会員 19 名に出席いただいた今回のクリアソウルセミナーの概要を紹介するとともに、当日の様子をお届けします。



クリアソウル事務所調べ

¹ 「韓国駐在地方公務員等連絡協議会」・・・韓国に駐在している日本の地方公務員や関係者を対象に組織。事務局はクリアソウル事務所に設置しており、事務局長はクリアソウル事務所長。

韓国全羅北道完州郡所在 韓国地方行政研修院にて ～1日目～

■韓国地方行政研修院の概要

名 称：韓国地方行政研修院〔安全行政部（日本の総務省に相当）所管〕

設立趣旨：韓国の公務員教育訓練に関する政策と指針に従い、国家公務員、地方行政分野職務に従事する公務員、地方自治体に勤務する公務員及び自治行政関連民間従事者に対する教育と訓練を行う。

設立年月：1965 年 9 月

沿 革：2013 年 8 月 全羅北道完州郡へ庁舎新築移転

2008 年 2 月 「地方行政研修院（行政安全部所管）」として組織改編

2006 年 1 月 「地方革新人力開発院（行政自治部所管）」として組織改編

2005 年 1 月 「自治人力開発院（行政自治部所管）」として組織改編

1999 年 1 月 「国家専門行政研修院（行政自治部所管）」として組織改編

1978 年 1 月 京畿道水原市へ庁舎新築移転

1965 年 9 月 「地方行政研修院（内務部所管）」設立（ソウル市内）

H P： <http://www.logodi.go.kr/eng/main/>（英語版）

■韓国地方行政研修院の訪問

今回のクリアソウルセミナーは、韓国地方行政研修院の全面的な協力のもと、実施させていただきました。

1日目のスタートは、韓国地方行政研修院を訪問し、イム・チェホ院長にあたたかく迎えていただきました。続いて、「韓国地方行政研修院の概要」と題して、韓国の地方公務員等を対象とした研修概要や全羅北道完州郡への移転の経緯などについて、講義いただきました。

韓国地方行政研修院の主な事業としては、地方公務員に対する教育訓練及び研究開発支援、公務員及び民間教育訓練機関との交流及び協力増進、外国地方公務員に対する教育及び国際協力関連事業を実施しており、2013 年度の事業計画は、177 課程



韓国地方行政研修院の新庁舎前にて



韓国地方行政研修院の概要講義



国際講義室の音響等操作室

166,455 人(実地研修教育:72 課程 6,445 人、サイバー研修教育:105 課程 160,000 人)とのことであり、「開放と協力をモットーに信頼される公務員の育成に取り組んでいる。」との説明がありました。

また、現在 99 名の職員が勤務しており、2013 年度予算は、183 億ウォン(人件費 57 億ウォン、運営経費 10 億ウォン、事業費 116 億ウォン)とのことでした。



各種専門書籍等を備え付けた図書館

講義終了後は、韓国地方行政研修院新庁舎(工期:2011 年 9 月~2013 年 5 月、総事業費:1,637 億ウォン)内の講義室、国際会議室、図書館、自習室、構内食堂、体育関連施設、宿泊施設等を視察させていただき、実際の研修現場と研修施設の充実ぶりを見ることができました。

講義と施設視察において、セミナー参加者から活発な質疑がなされ、下に記載のとおり韓国地方行政研修院のご担当者から回答をいただきました。

セミナー参加者からの質問に対する韓国地方行政研修院の回答(抜粋)

- 地方自治体において、課長級昇進候補者となった場合は、韓国地方行政研修院で 6 週間の研修を受講しなければならない。
この研修を受講しなければ、課長級へ昇進することはできないため、研修受講者は、懸命に研修に取り組んでいる。
- 韓国地方行政研修院は、名称のとおり、基本的に地方自治体職員に対する研修を実施する機関である。国家公務員に対する研修は、別の機関が実施している。
- 国際会議室は、同時通訳ブースが設置されており、3 か国語でのリレー通訳が可能である。
- 自習室については、24 時間運営している。

■「行政中心複合都市の推進課程と未来への展望」講義

続いて、韓国地方行政研修院にて、韓国における行政中心複合都市の第一人者で、2006 年にマスタープラン策定に携わっておられたことのあるソウル大学建設環境工学部のアン・ゴニョク教授から、「行政中心複合都市の推進課程と未来への展望」について、講義いただきました。

アン教授からは、行政中心複合都市計画策定の背景と推進課程について、準備・計画・建設の流れを追って、詳細に講義いただき、都市構造に関するアイデアの国際公募実施の状況や日本の幕張プロジェクト等が参考とされたことなどについて説明されました。

また、政府新庁舎の建設状況や計画当初と現在における人口成長率や家族人員数との乖離などに関して、これから調整が必要である等、大変示唆に富んだ講義となりました。

講義内容についてのアンケート結果では、下に記載のとおりセミナー参加者から感想をいただきました。



ソウル大学教授アン・ゴニョク氏



都市の計画について質問するソウル事務所職員

「行政中心複合都市の推進課程と未来への展望」講義アンケート結果（抜粋）

- 行政中心複合都市の基本的な概要が理解できた。
- 行政中心複合都市について、都市計画の観点から説明を受け、大変参考になった。
- 有識者として行政中心複合都市のマスタープランに関わった方の話を聞くことができ、大変貴重な機会となった。
- 行政中心複合都市のマスタープランに関わった立場として、行政中心複合都市が抱える課題やこれから調整が必要である点を聞くことができよかった。
- 翌日の行政中心複合都市の現地視察前の講義であったため、現地視察の際の理解が深まった。

世宗特別自治市（行政中心複合都市含む）にて ～2日目～

■世宗特別自治市の概要

人 口：121,787 人（2013 年 11 月 30 日現在）

面 積：465.23 km²

行政区域：1 邑 9 面 1 洞で構成

小井面、全義面、燕西面、燕岐面、ハンソル洞、將軍面、全東面
鳥致院邑、燕東面、芙江面、錦南面

（旧忠清南道燕岐郡、同道公州市の一部、忠清北道清原郡の一部で構成）

発足年月：2012 年 7 月 1 日（韓国 17 番目の広域自治体）

姉妹都市：姉妹都市提携はなし

H P：<http://www.sejong.go.kr/global/jp/>（日本語版）

位置図：<http://www.sejong.go.kr/global/jp/HappySejong/FORPosition.jsp>



○行政中心複合都市について：

行政中心複合都市は、首都圏の過度な集中による副作用を是正し、国家の均衡発展と国家経済力強化に資することを目的として建設している都市である。

また、行政中心複合都市へは、中央行政機関及び所属機関が移転しており、行政機能の中心となる複合都市として、世宗特別自治市内に建設されている。



■世宗特別自治市ピョン政務副市長への表敬訪問と「世宗特別自治市の概要と展望」講義



ピョン・ピョンソプ
邊 平 變 政務副市長

2日目は、行政中心複合都市を抱え、2012年7月1日に発足して1年が経過した世宗特別自治市を訪問しました。

世宗特別自治市では、ピョン・ピョンソプ政務副市長から、「私は、5年間、忠清南道歴史文化研究院で院長として勤務した。忠清南道には百済の都である公州市と扶餘郡があるが、百済文化を通じて、日本の奈良県、京都府、大阪府、九州各県と交流してきた。」「この忠清道圏に新たに誕生したのが世宗特別自治市であり、日本とは密接な関係を築いてきた地域である。」「日韓関係がこのような状況にある中、このような交流が葛藤の克服策となる。日本の公務員は研究するという心を持っている。今回のセミナーで世宗特別自治市において、新たな都市行政を学ばれることを歓迎する。」との大変あたたかい歓迎の言葉をいただきました。



世宗特別自治市の概要講義

続いて、世宗特別自治市公報官室のイ・ホンジュン総括事務官から、「世宗特別自治市の概要と展望」について、大変明快かつ丁寧に講義いただきました。

講義では、世宗特別自治市の市政目標である「(1)住みやすい幸福都市、(2)活力ある経済、(3)相互協力均衡開発、(4)未来創造教育文化の理念のもと、『誰もが暮らしたい幸福都市 世宗市』を目標としていることをはじめ、市政の概況の説明がありました。

人口推移の展望においては、2013年現在約12万人の人口が、2030年までに約80万人まで増加することを見込んでいるとのことであり、行政中心複合都市における政府機関等（17の中央行政



イ・ホンジュン総括事務官



ソウル事務所小谷所長（右）



質疑応答の様子

機関、18 の関係機関、16 の関係研究機関)の移転や周辺都市からの人口流入を考慮すると人口 80 万人の達成は十分実現可能と見込んでいるとのことでした。

イ・ホンジュン総括事務官からの講義終了後には、予定された質疑応答の時間を超過するほど、セミナー参加者から大変活発な質疑がなされましたので、次のとおりご紹介します。

セミナー参加者からの質問に対する世宗特別自治市の回答（抜粋）

- 世宗特別自治市が発足する前の関係自治体（地域）の住民の感情はさまざまであった。世宗特別自治市の範囲が決定する前、4～5 の関係自治体（地域）が候補にあがり、住民投票を実施のうえ、賛成した自治体の中で検討のうえ、現在の範囲となった。
- 世宗特別自治市内に行政中心複合都市があるが、行政中心複合都市はあくまで、行政機能の移転が主な目的である。世宗特別自治市として、行政中心複合都市の周辺地域をこれからどう開発していくかという課題がある。
- 世宗特別自治市の職員は、元の忠清南道燕岐郡（約 650 人）、同道公州市の一部職員、忠清北道清原郡の一部からの職員で全職員の約 65% を構成している。また、残りの約 35% の職員は、中央政府、忠清南道、その他の自治体からの職員となっている。現在の職員数は、約 1,050 人である。
なお、他の自治体からの職員については、公募により募集を実施した。
- 2030 年の人口を 80 万人と見込んでいることに対する職員数の対応については、今後、新規採用職員や他の自治体からの職員採用により解決していくことを考えている。なお、現状でも職員数は絶対的に不足している。

■行政中心複合都市の視察

続いて、世宗特別自治市内に建設されている行政中心複合都市の現場視察を実施しました。

行政中心複合都市展望台においては、建設中の政府庁舎（部分的には使用を開始している。）や都市の様子を概観することができました。また、展望台の 1 階では、広



行政中心複合都市展望台における説明

報映像を視聴することができ、視察団の受け入れ体制も整えられていました。

行政機能の移転という主目的のために建設されている行政中心複合都市ですが、紆余曲折がありながらも、一つの都市を新たに作るという超大規模事業を本当に実施してしまう韓国のダイナミックさを実感させられました。

展望台の視察後、世宗特別自治市を通じて行政中心複合都市建設庁に取り計らいいただき、国務総理室や国土交通部などが入居している政府庁舎内（屋上通路等）や開館前の国立世宗図書館等を視察させていただきました。

通常は、立入が禁止されている政府庁舎内や関係施設を視察させていただき、大変貴重な機会となりました。



建設中の政府庁舎等の様子



政府機関が入居している政府庁舎



政府庁舎の屋上通路



政府庁舎屋上からの風景



建設中の都市の様子



開館前の国立世宗図書館

■今回のセミナーを開催して

今回のクレアソウルセミナーは、「行政中心複合都市と世宗特別自治市の展望」をテーマに、韓国地方行政研修院と行政機能の移転問題ともに注目を浴びている世宗特別自治市（行政中心複合都市を含む）にて開催させていただくことで、大変多くのことを学ぶとともに韓国のダイナミズムを体感することができました。

また、セミナー終了後の参加者アンケートの結果では、「世宗特別自治市は、以前から視察を要望していた都市であり、大変有意義であった。」、「2012 年 7 月に発足したばかりの世宗特別自治市に実際に訪問し、直接、現場職員の声を聞くことができる大変貴重な機会であった。」、「行政中心複合都市の実際の現場を直接見ることで、実感をもって韓国の国家プロジェクトを学ぶことができた。」等の感想をいただき、今回のセミナーがセミナー参加者の皆様にとって、実りあるものであったことを感じています。

クレアソウル事務所では、引き続き、世宗特別自治市並びに行政中心複合都市の今後の動向を注視するとともに、韓国に駐在する地方公務員の皆様に、少しでも役立つ情報や機会を提供していくことができるよう、努力してまいります。

(坂庭所長補佐 長崎県派遣)

■世宗特別自治市と行政中心複合都市に関する資料について

本レポートでは、「行政中心複合都市と世宗特別自治市の展望」をテーマとしたクレアソウルセミナーの概要についてお届けしましたが、次のとおり関係する報告書やレポートについても過去に発行しておりますので、参考としていただければ幸いです。

○自治国際化フォーラム 277 号（2012 年 11 月号）

特集記事『韓国の「中央政府機関・公共機関の地方移転政策」について』

http://www.clair.or.jp/j/forum/forum/pdf_277/01_hyousi.pdf（表紙）

http://www.clair.or.jp/j/forum/forum/pdf_277/04_sp.pdf（特集）

OCLAIR メールマガジン vol.23（2012 年 1 月配信号）

報告書『行政中心複合都市「世宗市」が新たに誕生します！』

http://www.clair.or.jp/j/forum/c_mailmagazine/201201/2-3.pdf